

根付き野菜で農業問題解決に寄与

「底面給水式植物工場」でベトナムの農業生産・流通改善に挑む

国際協力機構(JICA)は1月26日、「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において株式会社グリーンウインドと(沖縄県名護市、代表取締役 花城良廣)と株式会社プラネット(愛知県豊橋市、代表取締役 大林修一)が提案する「底面給水式植物工場による自然有機野菜の生産とフードバリューチェーン構築に係る案件化調査」(対象国 ベトナム社会主義共和国)を採択しました。

ベトナムでは経済成長に伴い地方と都市の経済格差が拡大しています。農産物の生産・加工・製造・流通・消費に至るフードバリューチェーン構築の遅れが農業に経済基盤を置く地方経済の課題となっています。同社が提案する「底面給水式植物工場」は、従来のカット野菜を生産する水耕栽培と異なり根付き野菜を生産することで、常温で鮮度を維持しつつ長距離輸送や店舗販売を可能にします。また菌根菌と自然有機養液を用いることで無農薬、無化学肥料、高収量生産が可能となる他、栽培養液のロスを抑えることで排水管や循環ポンプ等の設備が不要となり生産コストの低減が期待されます。同社は提案製品を用いて同国が抱える農業生産と流通問題の改善に寄与することが期待されます。



「底面給水式植物工場」

(写真: 株式会社グリーンウインド)

この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたもので、2012年度から実施されており、2016年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。36件が採択され、今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考: (プレスリリース) 案件化調査 2016年度第2回公示の採択結果について

URL: <https://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/index.html>

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 沖縄国際センター 民間連携担当: 尾藤翔子、照屋りか
TEL 098-876-6000 e-mail: jicaaic-psp@jica.go.jp

PRESS RELEASE



独立行政法人国際協力機構
JICA 沖縄国際センター
2017年2月10日
